

シラバス

2025 年度

ビジュアルデザイン科メディアデザイン専攻 3 年

学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科 / ビジュアルデザイン科 / 研究科

ビジュアルデザイン科メディアデザイン専攻

シラバス

ビジュアルデザイン科メディアデザイン専攻3年 単位表

	専攻	成績項目	授業名	単位
前期	MD	デザイン演習 Ⅲ-A 3u	動画広告 A	2
	VD		就活ポートフォリオ	1
	VD	デザイン演習 Ⅲ-B 2u	広告デザイン応用	1
	VD		メディアデザイン応用	1
	VD	デザイン演習 Ⅲ-C 4u	グッズ制作	2
	GD&MD		グラフィックデザイン応用	2
	MD	デザイン演習 Ⅲ-D 3u	動画広告 B	1.5
	MD		映像制作2	1.5
学科	共通		古美術研修	1
小計				16
後期	GD&MD	視覚言語Ⅲ	リ・デザイン	3
	MD		卒業制作デザイン	16
合計				32

ビジュアルデザイン科メディアデザイン専攻3年
【前期時間割】

	1限	2限	3限	4限
月	実技カリキュラム		実技カリキュラム	
火	広告D応用(近藤)		実技カリキュラム	
水	実技カリキュラム		就活ポートフォリオ(田中)	
木	実技カリキュラム		実技カリキュラム	
金	実技カリキュラム		自主制作	
土	自主制作		物撮り&証写(藤本)	

【後期時間割】

	1限	2限	3限	4限
月	実技カリキュラム		実技カリキュラム	
火	実技カリキュラム		実技カリキュラム	
水	実技カリキュラム		実技カリキュラム	
木	実技カリキュラム		実技カリキュラム	
金	実技カリキュラム		実技カリキュラム	
土	自主制作		自主制作	

学科科目：前期学科授業名：「古美術研修」 担当教員：専任教員、北 進一

授業期間：2025年5月13日(月)–5月16日(金)

修得単位：1単位

学習目標：ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。(等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など)

授業内容：研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともありますが、現地で間近に見るのとは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作に良い刺激になることでしょう。

実技科目：前期実技授業名：「動画広告A」 担当教員：岡山拓史

授業期間：2025年4月9日(水)–5月8日(木)

授業時間：9：20–12：30/13：30–16：30

修得単位：2単位

学習目標：より短期間でアイデア出しから制作まで、スピードとクオリティを意識した制作を目指す。

授業内容：現代社会の中で変化し続けているメディアとデバイス、そこに付随した多様な表現方法が存在するクリエイティブの世界で、自身が進みたい業界や具体的に携わりたい職種など、個別にコミュニケーションを取りながら作品制作を進めポートフォリオのブラッシュアップを行う。

実技科目：前期実技授業名：「就活ポートフォリオ」 担当教員：田中北斗

授業期間：2025年4月9日(水)-7月2日(水)

授業時間：13：30-16：30

修得単位：1単位

学習目標：希望の進路に向けたポートフォリオ作りには「戦略的な構成」「客観的な自己分析」「企業分析」が大切になります。

また、PFのクオリティを上げる為の「作品撮影」も欠かせません。以上を踏まえた効果的なPF制作を目指します。

授業内容：各自の進路を見据え、希望するジャンルや企業などを検証。

企業の方向性に合わせた戦略的なポートフォリオの制作と合わせて、各自に合った自主課題（不足している作品、強化したいジャンルなど）を制作していきます。

- ① 進路ヒアリング（各自のアンケートをもとにポートフォリオ内容を検証）
- ② 各自の自主課題内容に沿って制作
- ③ 作品完成後は、ポートフォリオ用に撮影を実施

実技科目：前期実技授業名：「物撮り&証明写真」 担当教員：藤本陽

授業期間：2025年4月12日(土)-2026年1月10日(土)

授業時間：13：30-16：30

※予約制で1日から受講可能(単位習得は無し)

学習目標：なるべく沢山の写真からより良い写真を選ぶことを覚える。

授業内容：写真撮影を試みる。

実技科目：前期実技授業名：「広告デザイン応用」 担当教員：近藤忠

授業期間：2025年4月15日(火)-7月8日(火)

授業時間：9：20-12：30

修得単位：1単位

学習目標：各自の進路や課題に合わせ、自信をブランディングし個別の課題を制作することで、ポートフォリオ強化につなげます。

授業内容：各自の進路を見据え、希望するジャンルや方向性を検証。

ポートフォリオに不足している作品など、各自に合った課題を制作していただきます。

- ①課題説明 及び ヒアリング (各自のポートフォリオ内容をもとに課題を決定)
- ②各自の課題内容に沿って制作
- ③作品完成後は、ポートフォリオ用に撮影を実施
- ④ 講評は個別に行います

実技科目：前期実技授業名：「メディアデザイン応用」 担当教員：伊波英里

授業期間：2025年4月18日(金)-10月3日(金)

授業時間：13：30-16：30

修得単位：1単位

学習目標：多種多様な街頭ビジョンやデジタルサイネージが集まる“渋谷”の街を舞台に、デジタル広告の可能性を探ります。

授業内容：渋谷の街頭ビジョンやデジタルサイネージを使ったデジタル広告制作を想定し、リサーチ、企画、実制作、プレゼンまでを一貫して行います。実際の仕事の流れを体験することで、プロとしての制作スキルを養うことを目標とします。

実技科目：前期実技授業名：「グッズ制作」 担当教員：山田淳史

授業期間：2025年5月9日(金)-6月9日(月)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：ロゴ（ビジュアル）制作をし、各グッズに展開するまでを体験してもらいます。各グッズの特性を理解し、色数などを考慮しながらロゴ（ビジュアル）の展開を学んでいただきます。

授業内容：クライアントが参加する夏フェス用のグッズデザインを制作してもらいます。対象となるクライアントを各自設定し、夏フェス用グッズとして売れるデザインを考えてください。制作物は、うちわ／フォトホルダー／缶バッジ（モックアップ制作）、Tシャツ／タオル（紙ベースでの提出可）の計5アイテムと、A4サイズ商品カタログとなります。

実技科目：前期実技授業名：「グラフィックデザイン応用」 担当教員：草谷隆文

授業期間：2025年6月10日(火)-6月30日(月)

授業時間：13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：「条件のある」「与えられたテーマ」を、自身の個性や特性をバランス良く取り入れたポスター制作をする。また、長期間にわたる制作期間を、上手くスケジューリング出来るようにする。

授業内容：実際のコンペに各自参加し、コンペのテーマを全員で理解し、研究する。そして、ディスカッションをしながら、各自に合ったテクニックや表現方法をそれぞれ指導していく。事前準備や作業の進め方は授業の中で説明。

実技科目：前期実技授業名：「動画広告 B」 担当教員：大久保榛菜、岡山拓史

授業期間：2025年7月1日(火)–9月22日(月)

授業時間：13：30–16：30

修得単位：1.5 単位

学習目標：2年次の授業で学習したことをベースに、より短期間でのアイデア出しから制作まで、スピードとクオリティを意識した動画広告の制作を目指す。

授業内容：幅広いジャンルと様々な表現方法が存在する映像の世界で、自分が将来進みたい業界や具体的に携わりたい職種など、個別にコミュニケーションを取りながら制作を進める。

実技科目：前期実技授業名：「映像制作 2」 担当教員：奥牧裕介

授業期間：2025年9月24日(水)–10月20日(月)

授業時間：13：30–16：30

修得単位：1.5 単位

学習目標：卒業制作の進行とレベルアップおよび、それに必要な技術の研究と習得。

授業内容：個々の卒業制作の進行とクオリティアップを目的とした技術的・技法的指導。

実技科目：後期実技授業名：「リ・デザイン」 担当教員：関根慎一

授業期間：2025年10月21日(火)-11月17日(月)

授業時間：13:30-16:30

修得単位：3単位

学習目標：既存の展覧会告知フライヤーを既成概念に捉われない新しいアプローチやアイデアによってリ・デザインする事で、コミュニケーションデザイン（アートディレクション）の可能性を探る。

授業内容：①制作期間内に観覧可能な都内（または近郊）で開催されている美術館・博物館の企画展を観覧し、内容（作家・作風・流派）を把握する。実際のフライヤーも入手する。

②展示作品及び作家のポートレート（写真）は一切使用せずに、展覧会内容が伝わる様な（興味を喚起する様な）ビジュアルを考える。

③告知に必須の要素（実際のフライヤーを参照）をレイアウトして、企画展のフライヤー（A4・オモテ面のみ）を制作する。

実技科目：後期実技授業名：「卒業制作」 担当教員：岡山拓史

授業期間：2025年11月18日(火)-2026年1月22日(木)

授業時間：9:20-12:30/13:30-16:30

修得単位：16単位

学習目標：創形で学んだ3年間の集大成として、自身の表現の領域に於けるクオリティを追求しつつ、卒業制作としてふさわしい、社会性を意識した完成度の高い作品を制作します。そのうえで校内外の卒業制作展で発表することを目標とします。

プロのクリエイターとして充分通用する表現とプロとしてあるべき姿勢を求めます。

授業内容：各専攻の専任教員の個別指導に従い、コミュニケーションを大切にしながらゼミ形式での授業を行います。

学校法人高澤学園
創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2
TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982
URL <https://www.sokei.ac.jp/>
E-mail: sokei@sokei.ac.jp